

シーリングニュース



秋季号・目次

- ◎建築シーリング材標準色の決定について…………… 2
- ◎市況報告…………… 3
 建築着工統計 (52年2～8月)
- ◎生産・出荷統計…………… 4
 ALC、サッシ、板ガラス
- ◎理事会・委員会・分科会報告…………… 5
- ◎支部だより…………… 7
 名古屋支部、大阪支部、福岡支部

建築用シーリング材の標準色決定について

建築用シーリング材の色は従来統一されておらず、建物の設計者あるいはシーリング施工工事の発注者が主として建物全体の外観を損わないように、各シーリング材メーカーが標準化している製品の中から、あるいは必要に応じて特注色という形で選定され、使用されてきた。

しかし、メーカーのきめている標準色は、品質、性能が十分検討されたうえで設定されているが、シリコン、ポリサルファイド、ウレタンといったシーリング材の種類によっては、技術的な面からも色の選定は制限され、さらに使用者の側からみれば各メーカーにより色及び呼称の不統一からくる色の選択の不便があった。また、メーカー側からすれば、色を統一することにより、品種の統合整理、生産の効率化、品質管理の維持向上が可能となる。

こういった現状を踏まえて日本シーリング工業会では、現状の技術レベルで可能な範囲での各素材共通の標準色を設け、色と呼称の統一を計る目的で昭和49年に表1に示すような現状調査を行った。また標準色以外の特注色は全体の5%と推定された。

この結果をもとに日本シーリング工業会では、日本色彩研究所の応援を求め、加盟各社の標準色を解析し工業会としての基本色を定め、各社での十分な検討を経て、今回表2に示す標準色及び限界色の基準値を設定するに至った。

標準色はJIS Z 8721にて解説されている通り、「色調」「明るさ」「あざやかさ」の三つの属性を表わす「色相」「明度」「彩度」をそれぞれ記号化し、色相、明度、彩度の順に、例えばブラウンの場合、7.5Y R 4.5 / 3.5と表示されている。建築用シーリング材の色には当然、ある範囲で色の変化が許容されるので、実用上支障のない範囲で表3に示すように限界値が設定された。

日本シーリング工業会では会員各メーカーの準備およびユーザーへのPR期間を半年間と定め、実施開始を昭和53年4月よりとしている。

今後ユーザーの御協力を得ながら建築用シーリング材の標準色の設定を通じて、品質の維持、向上及び生産の効率化を計って行く計画である。

表1 建築用シーリング材の色と比率

色	販売高比率%
ブラック	15.0
グレイ	36.6
ブラウン、アンバー等	21.6
ホワイト	13.0
クリア	3.3
アイボリー、クリーム他	4
シルバー	3.2
赤他	3.2

注) 昭49-9日本シーリング工業会調査

表3 標準色および限界色の基準値

色名	標準色	限界色		
		色相	明度	彩度
ブラウン	7.5Y R 4.5 / 3.5	±1.0	±0.5	±0.5
ダークブラウン	7.5Y R 3.0 / 1.5	±1.0	±0.5	±0.5
ホワイト	N 9	±1.0	-0.5	1以下
グレイ	N 5.5	±1.0	±0.5	1以下
ブラック	N 1.5	±2.5	+1.0	1以下

表2 共通標準色及び基材別標準色

呼称(色名)	ブラウン	ダーク ブラウン	ホワイト	グレイ	ブラック	クリア	アルミ グレイ
標準色(記号) ^{注)2}	7.5Y R 4.5 / 3.5	7.5Y R 3.0 / 1.5	N 9	N 5.5	N 1.5	注)2	注)2
ポリサルファイド	○	○	—	○	○	—	—
シリコン	○	○	○	○	○	○	○
ウレタン	—	—	—	○	○	—	—
水性アクリル	—	—	○	○	—	—	—
水性SBR	—	—	○	○	—	—	—
ブチル	—	—	—	○	○	—	—
油性	—	—	—	○	—	—	—

注)1 JIS Z 8721の三属性表示記号による

注)2 クリア、アルミについては別途基準を定める

市況報告

これは建築着工統計のうち今月2～8月の着工床面積と新設住宅着工戸数の推移をあらわしたものである。

建築着工統計

52年7月の特徴

全建築物の着工床面積は20,737千㎡で、前月比12.1%増、前年同月比8.0%減であった。

新設住宅の着工戸数は14万戸で、前月比で17.5%増を示したものの、前年同月比で11.6%減と依然として低迷を続けている。

52年上半年1月～6月の特徴

今月上旬期の全建築物着工床面積は103,181千㎡で、対前年同期比2.8%増であった。新設住宅の着工戸数は72万戸となり、前年同期比0.6%減で、月平均の着工戸数は12万戸であった。

全建築物着工床面積

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
総計(千㎡)	14,655	17,276	19,682	17,353	18,491	20,737
対前月(%)	93.2	117.9	113.9	88.2	106.6	112.1
対前年同月(%)	98.9	102.8	108.1	102.0	96.4	92.0
公共(千㎡)	1,606	1,730	1,571	1,560	2,082	3,069
対前月(%)	82.5	107.7	90.8	99.3	133.4	144.7
対前年同月(%)	87.6	105.1	96.1	98.9	118.4	135.3
民間(千㎡)	13,049	15,546	18,111	15,792	16,410	17,668
対前月(%)	94.7	119.1	116.5	87.2	103.9	107.7
対前年同月(%)	100.6	102.5	109.3	102.4	94.2	87.2
木造(千㎡)	6,652	7,907	10,461	8,344	8,083	9,490
対前月(%)	95.1	118.9	132.3	79.8	96.9	117.4
対前年同月(%)	97.3	94.2	110.9	101.7	84.5	81.9
不燃(千㎡)	8,003	9,369	9,221	9,009	10,408	11,247
対前月(%)	91.7	117.1	98.4	97.8	115.5	108.1
対前年同月(%)	100.3	111.4	105.1	102.3	108.1	102.8

新設住宅着工統計

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
総計(戸)	105,997	118,387	143,667	116,568	118,784	139,617
対前月(%)	91.0	111.7	121.4	81.1	101.9	117.5
対前年同月(%)	98.6	98.8	109.6	95.6	86.7	88.4
公的資金(戸)	25,788	25,895	41,918	23,929	21,317	44,751
対前月(%)	57.7	100.4	161.9	57.1	89.1	209.9
対前年同月(%)	94.4	119.5	181.3	116.4	67.0	76.6
民間資金(戸)	80,209	92,472	101,749	92,639	97,467	94,866
対前月(%)	111.7	115.3	110.0	91.0	105.2	97.3
対前年同月(%)	100.1	94.2	94.3	91.4	92.7	95.3

生産・出荷統計 (52年1～8月)

シーリングに関係のあるALC、サッシ、板ガラスの月別生産・出荷統計をまとめたもの。

今後シーリング材に関係ある建築用諸資材の当該期間における需給動向、および基材別シーリング材動向をまとめて御報告する予定ですが、今回は諸準備の都合で、その一部にとどめざるを得ませんでした。ご了承下さい。

(A)ALC

ALCの生産量・出荷量とも昨年と比べるとほぼ同じような状態になっている。しかし、極端な低迷の傾向や下降の気配が見えないことから今年1～8月の状態はやや強含みの横ばいといったところだ。尚、ピークは10月から11月にかけて毎月やってくる模様。

ALC生産・出荷統計

ALC協会

年月	生産数量	対前年同月(期)比	出荷数量	対前年同月(期)比
52. 1	108,964㎡	107.5%	95,730㎡	95.2%
2	123,385	105.3	111,867	99.9
3	117,500	98.9	119,039	105.5
52. 4	111,560	102.2	101,211	96.6
5	113,485	99.8	114,518	101.4
6	135,428	107.0	125,700	101.3
7	131,662	98.0	133,819	100.5
8	123,872	96.5	129,750	100.0

(B)サッシ

アルミニウムサッシの傾向は、昨年に比べ、横ばいかやや減少である。1月～7月まで、ほぼ同じ数字があらわれており、月別の大きな増減の波はない模様だが、在庫は1月に比べ7月は約1割ほど増えていることから、上昇の気配は感じられない。尚、全体のうち木造用が7割を占めている。

アルミニウムサッシ生産・出荷

単位：トン 百万円

		52年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
サッシ 合計	生産	37,268	37,942	39,941	39,949	37,483	37,359	36,544
	出荷	36,955	38,820	38,364	40,552	35,646	35,465	35,362
	出荷金額	34,621	37,015	37,253	41,511	36,619	36,605	36,626
	在庫	48,648	47,973	48,932	48,312	48,701	51,566	53,003
木造 用	生産	26,729	28,113	30,491	30,620	28,441	28,303	26,722
	出荷	26,392	29,299	29,163	31,067	26,625	26,428	25,706
	出荷金額	21,227	24,405	24,549	27,718	23,807	24,067	23,358
	在庫	41,874	40,675	41,445	40,846	41,063	43,771	44,861
ビル 規格	生産	4,187	3,759	3,593	3,541	3,275	2,927	3,776
	出荷	4,174	3,585	3,490	3,483	3,226	3,055	3,619
	出荷金額	4,957	4,785	4,837	5,201	4,950	4,551	4,759
	在庫	4,809	5,069	5,223	5,456	5,532	5,508	5,755

日本サッシ協会

(C)板ガラス

普通板・変り板ガラスの需給は、昨年に比べ、わずかではあるが、はっきりとした減少の傾向を示している。特に出荷で7、8月と連続して落ち込んでいるのが目立つ。在庫は昨年より1割程度増加している。

普通板・変り板ガラス生産・出荷統計

全国計

	生産		出荷		在庫	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
52年1月	2,213	100.6	1,613	106.9	4,597	141.0
2月	1,814	89.4	1,779	110.5	4,642	126.3
3月	1,929	87.5	2,448	118.1	4,126	109.0
4月	1,982	114.6	1,942	110.3	4,178	110.9
5月	2,041	97.9	1,996	100.0	4,231	109.9
6月	1,921	90.6	2,200	100.1	3,959	105.4
7月	1,998	94.2	1,834	83.5	4,130	110.0
8月	2,118	103.5	1,760	93.9	4,488	112.3

板硝子協会

理事会・委員会・分科会報告

136回理事会

於工業会
7月21日

- 1) 技術委員長報告
 - 新J I S 原案作成委員会、合同分科会の報告
- 2) 広報委員長報告
 - シーリングニュースの発行報告
- 3) 総務委員長報告
 - 日シ協との材工懇談会開催予定報告
- 4) 支部長報告
 - (1) 大阪支部長より四国電々におけるシーリング材説明会開催報告
 - (2) 名古屋支部長より日シ協名古屋支部のアンケート調査の件報告

- 1) 技術委員長報告
 - J I S 原案作成委員会、標準色設定検査委員会協力事項の報告
- 2) 総務委員長報告
 - 日シ協との材工懇談会開催報告
- 3) 検定委員長報告
 - 管理士規約の一部改正、同教育につき報告
- 4) 広報委員長報告
 - 参考標準設計価格の作成につき報告
 - 機関誌シーリングNo15の発行報告
 - シーリングハンドブック第3版印刷報告
- 5) 支部長報告
 - (1) 名古屋支部長9/13日シ協名古屋支部賛助会員会社員会社懇談会開催予定報告
 - (2) 大阪支部長より支部材工懇談会開催予定報告

137回理事会

於工業会
9月6日

138回理事会

於私学振興財団会館
10月13日

- 1) 検定委員長報告
 - 管理士規約第4条第12項(ハ)受験資格の改正
 - 再教育管理士証明書の更新
 - 1級管理士カリキュラムの内容について
- 2) 総務委員長報告
 - (株)ノーベル樹脂化学入会承認
- 3) 技術委員会
 - J I S 原案作成委員会評価区分の新提案事項内容報告

- 1) 新J I S 原案作成委員会の報告
- 2) 委員会行事と担当委員の決定
- 3) 年限保証

第2回技術委員会

於工業会
7月14日

理事会・委員会・分科会報告

第3回技術委員会	於工業会 8月18日	1)ウレタンJ I S工業会案の説明 2)アクリル、SBR J I S工業会案作成の経過報告 3)標準色について 4)検定委員会協力事項
第4回技術委員会	於工業会 9月2日	1)検定委員会協力事項の評価 2) J I S原案作成委員会報告 3)標準色について 4)年限保証の技術的要因
技術委員会ワーキング	於工業会 10月21日	J I S原案作成委員会関係耐久性試験法骨子の作成

第5回検定委員会	於工業会 7月21日	1)規約一部改正案の審議 2)諸手続き関係文書の様式決定 3)講習会、試験関係準備事項 4)本年養成計画の検討
第6回検定委員会	於工業会 9月6日	技術委員会より回付のあった1級カリキュラムの骨子に細目および担当(交渉)講師の選定
第2回広報委員会	於工業会 9月9日	1)機関誌シーリングNo.15の編集について 2)シーリングニュースNo.2の発行について
第3回広報委員会	於工業会 9月9日	同上
親睦ゴルフ大会	於千葉カントリークラブ 10月14日	秋季親睦ゴルフコンペを開催

日シ協との材工懇談会	於工業会 7月29日	1)特定化学物質を含有するシーリング材の取扱いについて 2)年限保証について
ポリサルファイド、シリコン、ウレタン合同分科会幹事会	於湯島聖堂工業会 7月7日	年限保証について
ウレタン分科会	於湯島聖堂 7月22日	1) J I S原案作成の経過報告 2)分科会 J I S工業会案作成委員の選出

第1回ウレタンJ I S小委員会	於工業会 8月1日	ウレタン J I S工業会案の作成
第2回ウレタンJ I S小委員会	於工業会 8月11日	ウレタン J I S工業会案の作成 8 / 18工業会技術委員会の承認を得、工技院 J I S原案作成委員会に提出
ブチルJ I S小委員会	於工業会 7月27日	ブチル J I S工業会案の作成
ブチルJ I S小委員会	於工業会 9月21日	ブチル J I S工業会案の作成 9 / 30工技院 J I S原案作成委員会に提出
水性アクリルSBR J I S小委員会	於工業会 7月28日	水性アクリル、水性SBR J I S工業会案の作成
水性アクリルSBR J I S小委員会	於工業会 9月27日	水性アクリル、水性SBR J I S工業会案の作成 9 / 30水性アクリル、水性SBR工業会を作成し、工技院 J I S原案作成委員会に提出

名古屋支部だより

- 7月7日 日シ協との親睦ゴルフ大会開催
優勝中村コーキング店
- 9月22日 日シ協との親睦ゴルフ大会開催
優勝河合コーキング
- 10月17日 支部役員会開催。本部理事会報告、新入会
員退会会員審査終了後、日シ協との合同役
会開催、市況問題につき意見交換。

大阪支部だより

- 7月21日 支部長 副支部長本部理事会出席
- 7月31日 大阪支部副支部長渡辺数馬氏8月転任につ
き支部長辞任の申出であり8月4日の幹事会に報告。
(9月20日世界長池永敏夫氏後任に受諾され次回幹事
会に報告予定)

- 8月4日 大阪支部幹事会
議題 本部理事会報告の件
(1 J I S改訂新設専門委員会報告)
(2 合同分科会経過報告)

来る9月9日(日シ協大阪支部より申出で)(日シ工)
との材工懇談会の件
(各件決定)

9月9日 シーリング工業会(日シ工)大阪支部・シ
ーリング工事業協会(日シ協)大阪支部材工懇談会

場所 新大阪チサンホテル

出席 日シ工会員 21名

日シ協幹事 20名

議題

〈日シ工提案〉(総て報告事項)

1. シーリング材の取扱と安全衛生ならびに特定化物

質障害予防規則との関係

2. シーリング施工後の年限保証問題
3. シーリング管理士関係
〈日シ協提案〉
1. 管理士の有り方
2. メーカー直需を避けて欲しい
3. 日シ協支部が協同組合に移行してもなお賛助会員
として協力と援助を願いたい
4. 防水技能士の誕生への側面からの協力を願いたい
5. 合同役員会を懇親会をかねて開催の件

福岡支部だより

九州の53年度設備後資額は52年度に対し、13%の減
少を予定し52年度に続き2年連続減少(全国唯一)を
記録する。一方、土木建設関係の企業到産も依然とし
て高推移を保ち各興信所は10月危機を説いている。

こんな背景もあり、工事業者の超安値受注、材料メ
ーカの安値販売が瀬発し、材工ともお互いに、収益
を圧迫しているのが現状である。特に最近では超安値受
注に超因すると思われるクレームが散見されシーリン
グ工事の地位そのものが疑われているのではないかと

福岡支部52年度の事業計画に「関係方面へのPRの
徹底」を取りあげているが早急に「超安値受注＝クレ
ーム発生」をふとくにG.C.、各官庁などにPRす
る必要がある。

日シ協会員による適正価格受注はクレーム発生なし
の考え方を業界に徹底するのが当支部の大きな、具体
的な仕事であろう。物性と正しい施工管理とかをPR
するだけでは事は解決しないと云うことを当支部で
は痛感している。

事務局だより

☆秋もようやく深まり、空も高くすみわたり、ときに夜
空をあおげば、ちりばめたような星が、美しくまばたい
ております。山はまた錦を敷いたような鮮やかな紅葉に
色づいて虫の鳴く野も、あかに染った山も、とみに冬を
迎える前のひとときの華麗な宴であるかもしれません。
☆さて、大自然のこの四季の移りかわる美しさとはうら
はらに、シーリング材とかかわりの深い建築産業は全

体的には依然として横バイ、微増、低迷等の線を描き
つつ推移して、つかの間の喜びと悲しみをくり返して
いるようです。去る8月末をもって、一身上の都合に
より中村保事務局局長が退職いたしました。

☆事務局も実りの深まりとともに月報、シーリングニ
ュース、シーリングハンドブックの発行、機関誌発行
の準備、技術委員会を中心とするJ I S原案の作成、
管理士制度の改革に伴う準備に忙殺され、諸事不行届
の点があることと存じますが、お気付きの点、または
ご要望事項がありましたら是非お申し出て下さるよう
お願いいたします。

日本シーリング工業会

東京都千代田区外神田 2-2-17 共同ビル

TEL 03 (255) 2 8 4 1 ~ 2

編集協力 (株)工文社 東京都千代田区外神田 2-1-6

TEL 03 (253) 4230 ・ 3835
